

市民プールの統廃合(案)について

平成30年8月

長野市文化スポーツ振興部
スポーツ課

公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課

1 長野市公共施設等総合管理計画(H29.3月策定)

2

■長野市公共施設等総合管理計画では

- ・公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進のための中長期的な基本方針
- ・市民プールは、広域的施設のモデル施設群として、市民の意見を反映した上で、平成30年度を目途に統廃合案を作成する。

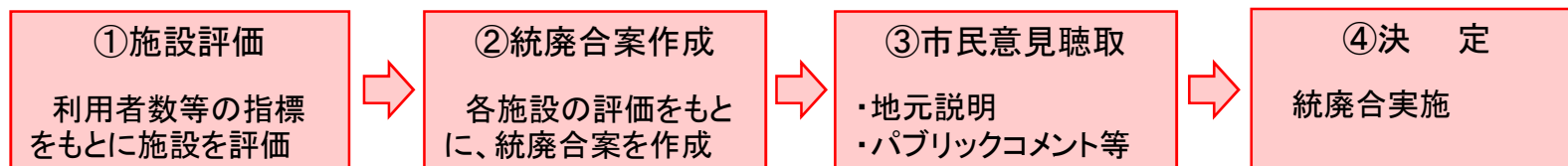
■市民プールが抱える課題

- ・屋内プールを含め12のプールを保有しており、全国の中核市(48市)の中で、施設数で3位(10万人当たり)、水面面積(1000人当たり)で1位と保有量が多い。
- ・今後、市全体で人口が減少していくことが予想され、需要は減少していくと考えられる。
- ・建設から40年以上経過しているプールもあり、今後、大規模改修の可能性が高い。

■市民プール統廃合の方針

屋内プール	通年の利用ができ、市民の健康増進に活用されており、利用者数も増加傾向であることから、今後は、長寿命化を図る。
屋外プール	利用期間が短いことや施設数も多いことや開設当時と比較し、大幅に利用者が減少していることから、屋外プールの統廃合を検討

■市民プール統廃合のプロセス



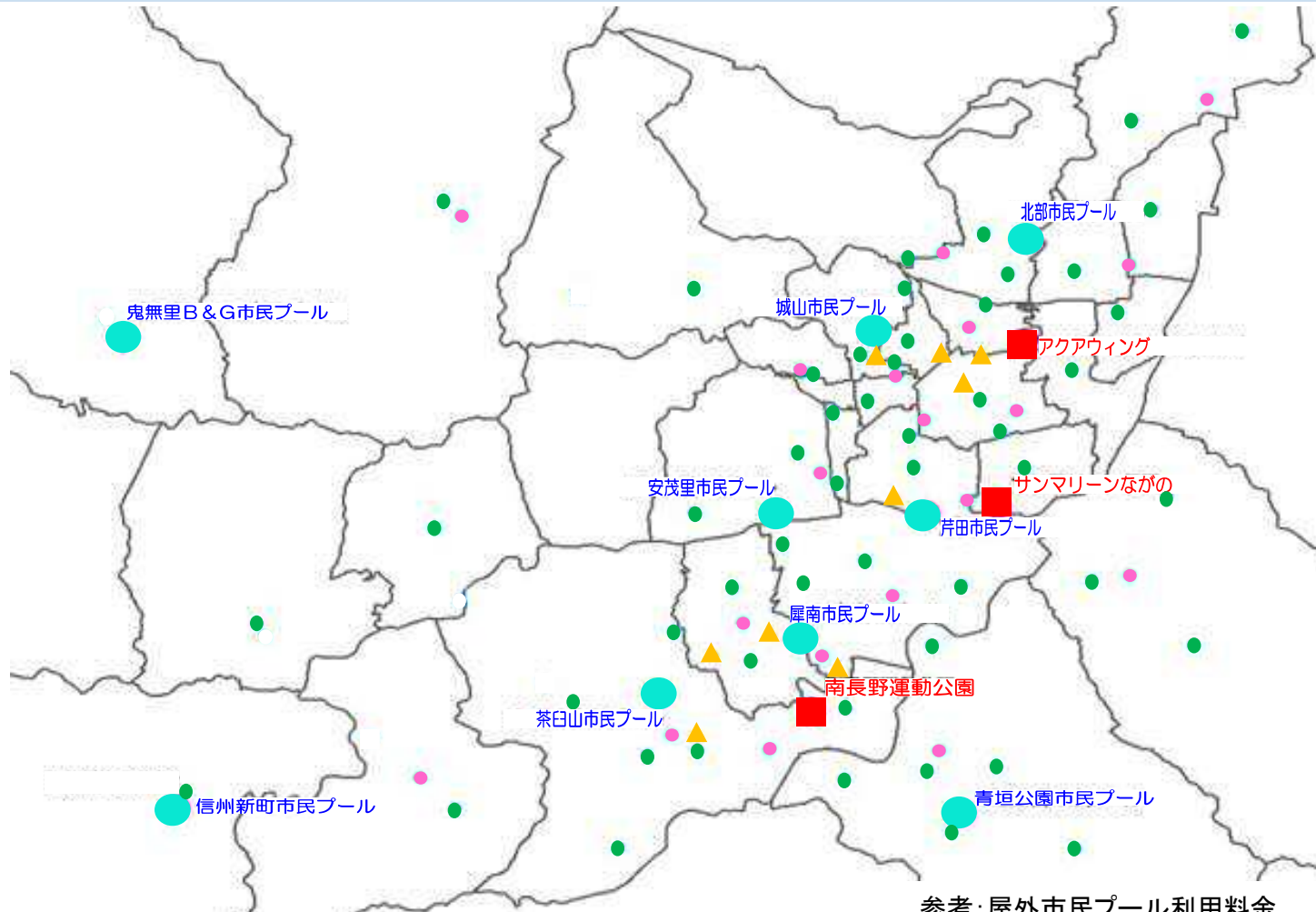
■市民プール施設概要

市民プールは、屋外プール9施設、屋内プール3施設の合計12施設

(建設順)

No	施設名	建設年月	経過年数	地区	形態	管理方法
1	信州新町市民プール	S45.8	48年	信州新町	屋外	直 営
2	城山市民プール	S46.5	47年	第二	屋外	指定管理
3	茶臼山市民プール	S48.7	45年	篠ノ井	屋外	指定管理
4	犀南市民プール	S49.10	44年	更北	屋外	指定管理
5	北部市民プール	S53.8	40年	若槻	屋外	指定管理
6	芹田市民プール	S61.6	32年	芹田	屋外	指定管理
7	鬼無里B&G市民プール	H3.5	27年	鬼無里	屋外	指定管理
8	青垣市民プール	H7.3	23年	松代	屋外	指定管理
9	安茂里市民プール	H7.7	23年	安茂里	屋外	指定管理
10	南長野運動公園屋内プール	H8.10	22年	篠ノ井	屋内	指定管理
11	アクアウイング	H11.11	19年	吉田	屋内	指定管理
12	サンマリーンながの	H29.12	5か月	大豆島	屋内	指定管理

※信州新町市民プールは、25mプールがS45.8、子供プールがH3.4に建設されている。



●	市営屋外プール	9施設
■	市営屋内プール	3施設
▲	民間屋内プール	9施設
●	小学校プール	53校
●	中学校プール	19校
※休校は除く		

■	プール利用不可及未整備校
※()	は代替プール
【小学校】	・鬼無里(鬼無里市民P)
【中学校】	・鬼無里(鬼無里市民P)
	・七二会(七二会小)
	・大岡(大岡小)
	・中条(中条小)
	・信州新町(信州新町市民P)
	・市立長野中学校

参考:屋外市民プール利用料金

区 分		1回券
小・中学生	城山ほか	70円
	青 垣	150円
一 般	城山ほか	300円
	青 垣	450円

2.3

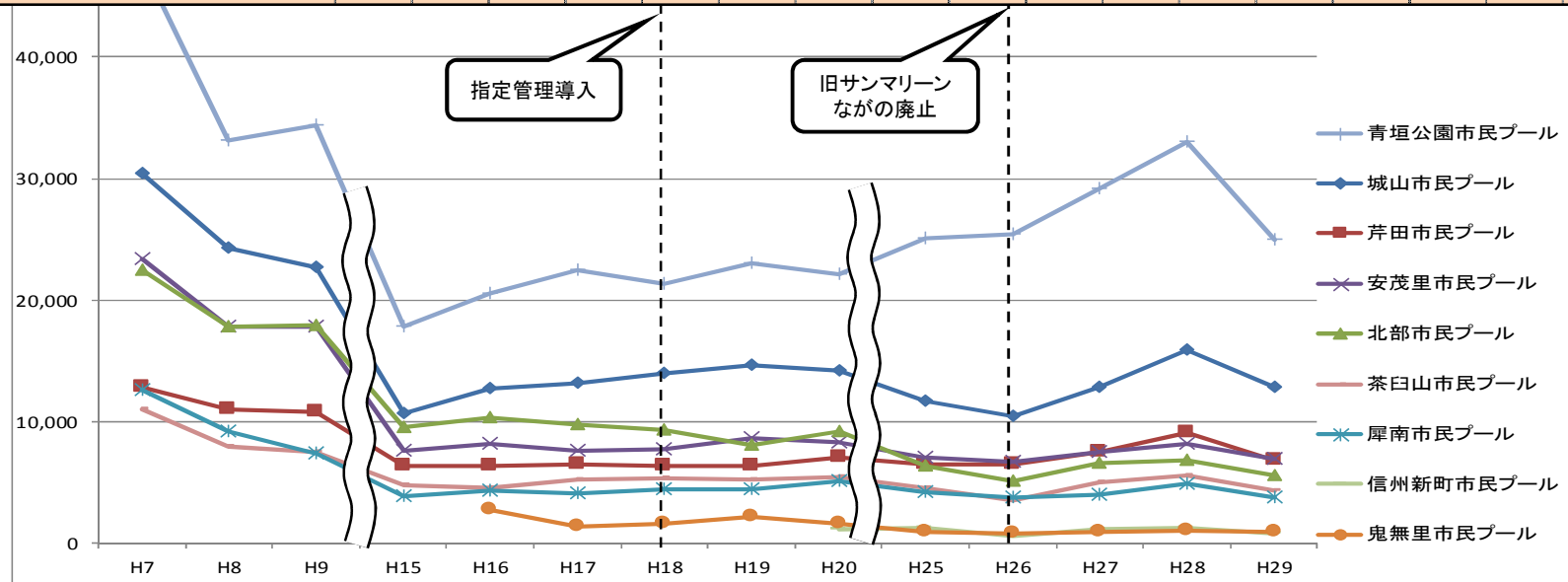
市民プール現況(利用状況)

5

■利用者数推移(H7~H29) ※一部年度省略

単位：人

施設名	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H24	H25	H26	H27	H28	H29
青垣公園市民プール	47,673	33,146	34,430	24,710	29,284	34,756	27,678	26,919	17,879	20,492	22,513	21,387	26,628	25,059	25,469	29,152	32,989	24,917
城山市民プール	30,369	24,234	22,710	17,312	19,564	21,929	18,528	17,062	10,712	12,704	13,164	13,984	14,159	11,745	10,414	12,808	15,862	12,866
芹田市民プール	12,846	10,990	10,815	8,342	10,059	11,286	10,130	8,383	6,346	6,392	6,454	6,345	7,627	6,498	6,452	7,543	9,123	6,869
安茂里市民プール	23,366	17,818	17,819	13,968	14,477	15,126	12,502	10,355	7,673	8,224	7,572	7,725	8,646	7,046	6,682	7,549	8,176	6,980
北部市民プール	22,467	17,872	17,990	14,247	14,134	16,456	14,662	13,061	9,531	10,300	9,768	9,370	8,258	6,401	5,156	6,586	6,872	5,538
茶臼山市民プール	11,018	7,936	7,532	5,300	5,957	6,938	6,438	6,592	4,729	4,586	5,181	5,382	4,909	4,503	3,589	4,973	5,612	4,280
犀南市民プール	12,589	9,150	7,359	5,996	6,436	7,249	5,984	5,561	3,853	4,303	4,137	4,427	7,016	4,237	3,799	3,940	4,863	3,728
信州新町市民プール													956	1,234	572	1,099	1,260	869
鬼無里B&G海洋センター市民プール				7,764	3,976	3,976	3,160	3,617	2,733	2,722	1,407	1,654	1,844	970	778	872	1,070	896
屋外計	160,328	121,146	118,655	97,639	103,887	117,716	99,082	91,550	63,456	69,723	70,196	70,274	80,043	67,693	62,911	74,522	85,827	66,943
総合市民プール(アクアウイング)	-	-	-	-	60,116	53,707	64,192	73,727	63,819	72,713	75,743	90,611	113,512	110,709	125,019	130,467	141,237	140,031
南長野運動公園屋内プール	-	-	24,570	35,805	39,751	35,502	34,276	30,776	26,753	26,320	26,345	95,754	140,062	107,132	123,768	111,927	111,265	106,995
旧サンマリーンながの	190,842	157,733	163,648	158,273	156,386	141,425	127,623	132,181	145,020	152,160	153,247	164,679	169,509	170,528	-	-	-	-
屋内計	190,842	157,733	188,218	194,078	256,253	230,634	226,091	236,684	235,592	251,193	255,335	351,044	423,083	388,369	248,787	242,394	252,502	247,026



【芹田市民プール】

H30年2月頃に亀裂が入り、使用が困難な状況となったため、今年度のプールの営業を休止しています。

プール全景



【青垣公園市民プール】

利用者の満足度向上のため、塗装の塗り替えや、トイレやシャワー室の改修を実施しました。

プール全景



■全国のプールの状況(H29年版 地方財政白書)

H27年度 プール数 3,698箇所 H17年度と比較し702箇所減(16.0%減)

■屋外プールの状況

- ・レジャーの多様化や施設に求める利用者要望の高度化から利用者は減少傾向にある。
- ・紫外線(日焼け)を避ける傾向にある。

■屋外プール従事者の人材確保

- ・プールの監視員等は、指定管理者の正社員のほかに、学生等のアルバイトを雇用している。
- ・プールのオープン期間は、周辺自治体も同時期になるため、アルバイトの確保が難しい状態が近年続いている。
- ・人手不足を指定管理者の正社員で補っている状態のため、シーズン中、職員の休暇が確保できない状況が続いており、指定管理を今後継続出来るか課題となっている。

■長野市の状況(第五次長野市総合計画)

- 【人口減少】 全国的な人口減少の中で、長野市も減少傾向が加速度的に進むと推計されている。
- 【財政状況】 税収は、大きな伸びが期待できない状況にあるため、戦略的な施策の絞り込みや限られた行政経営資源の効率的な配分が求められている。

■施設位置

広域的施設として、プールの所在地やバランスを考慮して、便宜上のエリア分けを行った。

【北部】

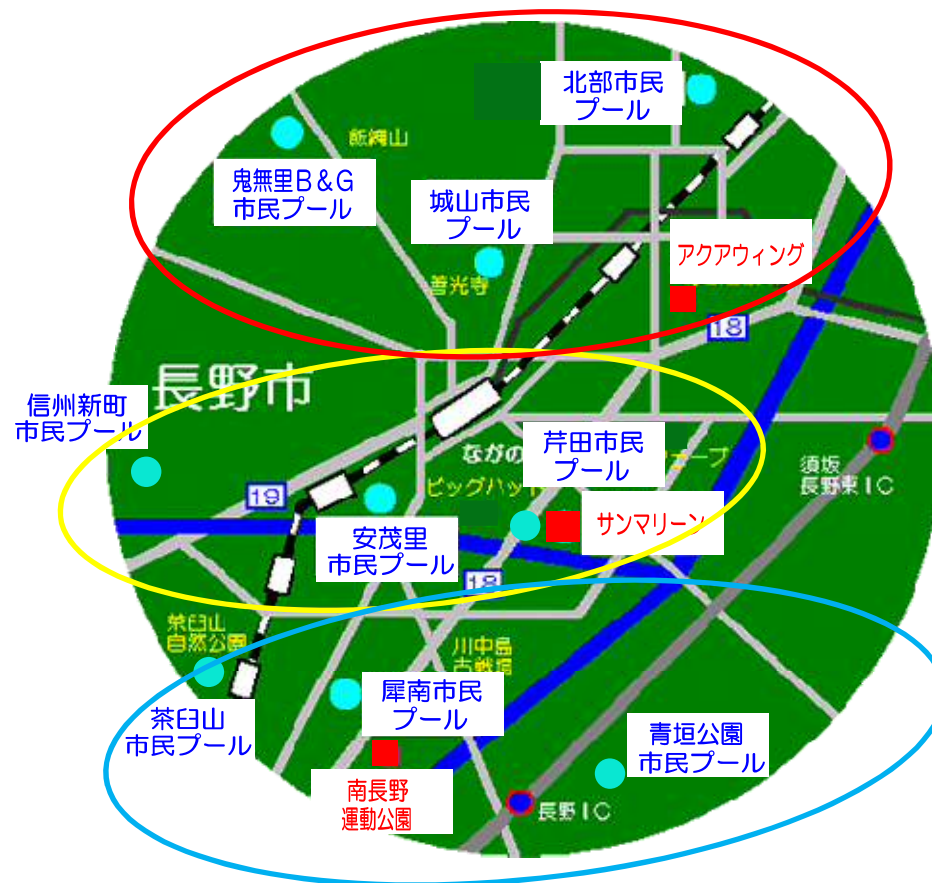
北部・城山・鬼無里市民プール、
アクアウイング

【中部】

芹田・安茂里・信州新町市民
プール、サンマリーンながの

【南部】

犀南・茶臼山・青垣公園市民
プール、南長野運動公園屋内プール



凡例

●	屋外プール
■	屋内プール

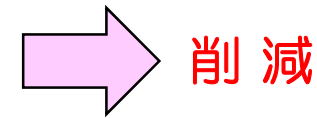
3.2 市民プールの統廃合に向けた基本方針

9

市民プールの統廃合について、基本的な方針を示す。

■中核市(48自治体)の状況を考慮して施設数を削減

【長野市】			【中核市平均】
施設数	12施設	第3位(10万人当り)	5施設
水面面積	12,420㎡	第1位(1千人当り)	4,527㎡



【長野市の財政状況】	
財政力指数	第35位(48自治体中)

中核市データ:H28.3.31時点

■地域バランス等を考慮

- ・市域が広く、既に多くの市民プールがあり、利用者もいるため、アクセスや利便性を考慮し、3つのエリア内で施設のバランスを図る。

【現状】

	屋外	屋内
北 部	3	1
中 部	3	1
南 部	3	1

【将来像】

	屋外	屋内
北 部	1	1
中 部	1	1
南 部	1	1

- ・指標による点数の評価とともに、各プールの個別事情にも配慮する。

■統廃合の方向性

- ・存続するプールは、統廃合によって削減された費用の一部を施設の長寿命化や魅力向上に充てる。
- ・廃止となった施設は、費用対効果を含め後利用を十分検討する。

3.3 市民プールの統廃合に向けた基本方針

■学校プールの利活用

学校プールを市民プールとして利用する場合	市民プールを学校プールとして利用する場合
<ul style="list-style-type: none">・学校プールの活用は、以下の課題があり原則困難 <p>【施設面】</p> <ul style="list-style-type: none">・駐車場が少ない・敷地面積が狭い・更衣室が狭い・コインロッカーの設置が必要 <p>【運用面】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校の夏休み期間中に限られる・夏休み期間中も、こどもプラザ等で学校を利用する児童がいるため、防犯面で不安がある。	<ul style="list-style-type: none">・市民プールまでの移動時間がかかる。・移動手段(バス等)が必要となる。・市民プールも老朽化している。

■学校プールの在り方について

- ・学校プールについては、各校の建設年度や老朽度等異なるため、今後、各校の状況を踏まえ個別に対応していく。

■ 評価指標

施設の評価は、主に次の4点を指標とし、5段階評価を行った上で点数を付けし比較する。

■ 利用者状況	<①水面面積当たり利用者数> <②20年前と近年の増減率>	}	評価結果	点数
■ 施設運営コスト	<③コストパフォーマンスで評価>		A	5
■ 改修・改築コスト	<④今後の改修・改築コストで評価>		B	4
			C	3
			D	2
			E	1

■ 利用者状況<1㎡当たりの利用人数(H27～H29 平均)>

	H27	H28	H29	平均	水面積	1㎡当たり 利用人数	評価
青垣	29,152	32,989	24,917	29,019	1,233㎡	24人	A
城山	12,808	15,862	12,866	13,845	1,449㎡	10人	C
芹田	7,543	9,123	6,869	7,845	862㎡	9人	D
安茂里	7,549	8,176	6,980	7,568	855㎡	9人	D
北部	6,586	6,872	5,538	6,332	878㎡	7人	D
茶臼山	4,973	5,612	4,280	4,955	927㎡	5人	D
犀南	3,940	4,863	3,728	4,177	863㎡	5人	D
信州新町	1,099	1,260	869	1,076	487㎡	2人	E
鬼無里	872	1,070	896	946	385㎡	2人	E
計	74,522	85,827	66,943	75,764	7,939㎡		

1㎡当たりの利用者が最も多いプールは、青垣公園市民プール、次いで、城山市民プールとなっている。

一方、最も少ないプールは、鬼無里・信州新町市民プールとなっている。

A：20人以上

B：15人～20人未満

C：10人～15人未満

D：5人～10人未満

E：5人未満

■利用者状況〈20年前(H7～H9)と近年(H27～H29)の比較〉

施設名	H7～H9 平均利用者数	H27～H29 平均利用者数	増減率	評価
青垣公園市民プール	38,416人	29,019人	△24%	B
芹田市民プール	11,550人	7,845人	△32%	B
茶臼山市民プール	8,829人	4,955人	△44%	C
城山市民プール	25,771人	13,845人	△46%	C
犀南市民プール	9,699人	4,177人	△57%	C
安茂里市民プール	19,668人	7,568人	△62%	D
北部市民プール	19,443人	6,332人	△67%	D
鬼無里B&G海洋センター市民プール	5,239人	946人	△82%	E
信州新町市民プール	—	1,076人	—	E

※鬼無里市民プールは、H10～H12の利用者数
(営業期間が当時は3か月だったため現在の2か月に換算し算出)

※信州新町市民プールは、過去のデータが不明なため、近年の利用者数が同様の鬼無里
と同等と類推し、D評価として点数を付ける。

A : 0%～△20%未満

B : △20%～△40%未満

C : △40%～△60%未満

D : △60%～△80%未満

E : △80%以上

■施設運営コスト(H27～H29 平均)

表示のない単位は円

	青垣	城山	芹田	安茂里	北部	茶臼山	犀南	信州新町	鬼無里	合計
指定管理料等	13,030,653	9,618,333	6,365,333	6,365,333	6,365,333	4,990,000	6,057,333	6,448,975	5,524,000	64,765,295
土地賃借料	0	0	0	0	0	0	527,000	0	788,000	1,315,000
支出計	13,030,653	9,618,333	6,365,333	6,365,333	6,365,333	4,990,000	6,584,333	6,448,975	6,312,000	66,080,295
収入(直営分)	0	0	0	0	0	0	0	132,780	0	132,780
差引き	13,030,653	9,618,333	6,365,333	6,365,333	6,365,333	4,990,000	6,584,333	6,316,195	6,312,000	65,947,515
利用人数	29,019人	13,845人	7,845人	7,568人	6,332人	4,955人	4,177人	1,076人	946人	75,764人
一人当りコスト	449円/人	695円/人	811円/人	841円/人	1,005円/人	1,007円/人	1,576円/人	5,870円/人	7,374円/人	
評価	A	A	A	A	B	B	B	E	E	
参考(施設利用料等)	4,603,783	1,483,020	808,190	731,823	602,007	485,013	415,700	132,780	86,233	9,348,550

A : 1,000円未満/人

B : 1,000円以上/人～2,000円未満/人

C : 2,000円以上/人～3,000円未満/人

D : 3,000円以上/人～4,000円未満/人

E : 5,000円以上/人

参考:屋内プール運営コスト(H27～H29 平均)

表示のない単位は円

	アクアウイング	南長野運動公園屋内プール
指定管理料等	259,953,803	46,742,761
土地賃借料	0	0
支出計	259,953,803	46,742,761
利用人数	137,245人	57,265人
一人当りコスト	1,894円/人	816円/人

【H31～H40】 維持的改修のほかに築50年以上経過するプールは、全面改築を想定する。

【H41～H50】 維持的改修が想定される。

単位:千円

施設	建設年度	改修・全面改築費用			評価
		H31～H40	H41～H50	計	
安茂里	H7.7	17,000	6,000	23,000	A
鬼無里	H3.5	13,000	3,000	16,000	A
青垣	H7.3	34,000	12,000	46,000	A
信州新町	S45.8	137,821	0	137,821	B
犀南	S49.10	244,229	0	244,229	C
北部	S53.8	248,474	0	248,474	C
茶臼山	S48.7	262,341	0	262,341	C
芹田	S61.6	243,946	0	243,946	C
城山	S46.5	410,067	0	410,067	E
計		1,610,878	21,000	1,631,878	

A : 1億円未満

B : 1億円以上～2億未満

C : 2億円以上～3億未満

D : 3億円以上～4億未満

E : 4億円以上

■各プールの個別事情

施設名	内 容
城 山	・公園緑地課で、城山公園の一体的な再整備を検討している。
北 部	・近隣に福祉施設があることから福祉団体の利用が比較的多い。
安茂里	
芹 田	・隣接する衛生センターの建替えに伴う地元要望として建設されたプール。 ・当年2月、プール内に大きな亀裂が生じ、今年度以降のプール営業が難しい状態となっている。
犀 南	・施設の一部が借地となっている(年間 527,000 円)。 ・住宅地内にあり、アクセスが悪く道路も狭い。
鬼無里	・施設の全部が借地となっている(年間 788,000 円)。 ・B&G財団の助成を受け建設した施設のため、廃止に当たっては、財団と協議する必要がある。小中学校等の授業で利用している。
青 垣	
茶臼山	
信州新町	・唯一の直営プール。H29～H30年度は、スライダーが故障し稼働しなかったため、料金を下げて営業(今後の復旧は未定)。 ・中学校の授業で利用している。

■ 評価結果

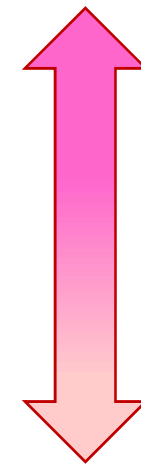
4つの指標に対し、A～Eの5段階評価を行った結果を点数付けし、評価を行う。

- 利用者状況 <①水面面積当たり利用者数>
<②20年前と近年の増減率>
- 施設運営コスト <③コストパフォーマンスで評価>
- 改修・改築コスト <④今後の改修・改築コストで評価>

評価結果	点数
A	5
B	4
C	3
D	2
E	1

	利用状況		施設運営コスト	改修・改築費用	評価
	水面積当たり人数	開設時と近年の増減			
青 垣	A	B	A	A	19
安茂里	D	D	A	A	14
芹 田	D	B	A	C	14
城 山	C	C	A	E	12
茶臼山	D	C	B	C	12
犀 南	D	C	B	C	12
北 部	D	D	B	C	11
鬼無里	E	D	E	A	9
信州新町	E	D	E	B	8

評価が高い



評価が低い

4つの評価指標に各施設の個別事情を考慮した上で、エリアごとに、各施設を、存続、当面存続、統廃合対象に分類し統廃合案を作成した。

統廃合の時期を、**第1期(統廃合対象施設)**と**第2期(当面存続施設)**に分け、当面は、統廃合対象施設から統廃合に向けた作業を実施していく。

区域	施設名	評価	総合評価結果	統廃合案
北部	鬼無里	9	市民プールとしては、 統廃合の対象 とするが、学校プール等としては、存続する方向で教育委員会と協議する。また、B&G財団と今後について協議をしていく。	第1期
	北部	11	城山及び北部市民プールは、今後の城山公園の整備方針によって、統廃合について改めて検討し、どちらか一方を廃止する。	第2期
	城山	12	城山及び北部市民プールは、今後の城山公園の整備方針によって、統廃合について改めて検討し、どちらか一方を廃止する。	第2期
中部	信州新町	8	市民プールとしては、 統廃合の対象 とするが、学校プールについては、教育委員会と協議する。	第1期
	芹田	14	プール内に大きな亀裂が生じ、今年度以降のプール営業が難しい状態となっている。エリアで一つを存続する基本方針から、安茂里と同等の評価だが、同プールを 統廃合の対象 とする。廃止後は、地元と協議する(公園や屋外スポーツ施設等を検討)。	第1期
	安茂里	14	利用者が多く施設も比較的新しいことから、施設の長寿命化を図り存続	存続
南部	茶臼山	12	利用者が少なく、 統廃合の対象 とする。複合スポーツ施設内にあり、管理が容易に行えるため、廃止後は、通年利用出来る屋外多目的スポーツ施設など機能向上を検討。	第1期
	犀南	12	利用者が少なく、茶臼山市民プールと同等の評価で、統廃合の対象として検討するところだが、後利用が難しく、茶臼山市民プール廃止後の利用状況を見て段階的に廃止を検討する。	第2期
	青垣	19	評価が高いことから、施設の長寿命化を図り存続	存続

施設名	後利用(案)	
芹田		<p>衛生センター建替えに伴う地元要望で建設されたため、地元と協議を行う(公園や屋外スポーツ施設等を検討)。</p>
茶臼山		<p>隣接する敷地には、体育館などがある複合施設となっており、指定管理者が一体的に管理していることから、通年利用できるフットサルやゲートボールなど屋外多目的運動施設としての整備を検討</p>
鬼無里		<p>市民プールとしては廃止するが、学校等で利用しているため、学校プール等としては存続する方向で、教育委員会等と調整</p>
信州新町		<p>市民プールとしては廃止するが、学校利用については、小中学校の統合の検討と併せ教育委員会と調整</p>

■ 統廃合後の状況

凡例

- 存続
- 当面存続 (第2期で検討)
- 統廃合対象 (第1期)



【北部】
城山と北部市民プールは、
第2期にどちらかを廃止

【南部】
犀南市民プールは、茶臼山市民
プール廃止後の利用状況を見て
段階的に廃止を検討

■第1期統廃合実施後の姿

□施設数等

	現状	統廃合後
施設数	12施設 (中核市48市中3位)	8施設 (中核市48市中 3位)
水面積	12,420㎡(中核市48市中1位)	9,759㎡ (中核市48市中 4位)
運営費	65,947千円/年	41,964千円/年 (△23,983千円/年)
改修改築費	約16億1千万円/10年間	9億5千万円/10年間 (△6億6千万円/10年間)

※施設数、水面積……屋内プール含む
 ※運営費、改修改築費……屋内プール含まない

□統廃合プール利用者

現状プール利用者数	9施設 75,764人(H27～29平均)
存続プール利用者数	5施設 60,942人(H27～29平均)
統廃合プール利用者数	4施設 14,822人(全体の約20%)
存続プール収容可能人数	5施設 112,997人(H7～9平均) > 75,764人

今後のスケジュール

21

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・経済文教委員会 ・公共施設の在り方特別委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール現状報告 〃 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・部長会議 ・市議会政策説明会 ・公共施設の在り方特別委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合案説明 〃 〃(公表) 	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 統廃合案 公表 </div>
8月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合対象プール地元説明 ・公共施設適正化検討委員会 ・スポーツ審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合案説明 〃 〃 	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 説 明 </div>
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・部長会議 ・市議会政策説明会 ・記者会見 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民プール個別施設計画案(パブコメ案) 〃 〃 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメ実施 ・部長会議(臨時) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民プール個別施設計画決定 	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> パブコメ </div>
H31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年度は営業(第1期統廃合対象施設)。ただし、芹田市民プールは休止 		
H32年度	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止 		

長野市の屋外市民プールの調査(利用者別の割合、利用目的等)

■利用者別割合等(H27.28.29)

一般(高校生以上)	小中学生	幼児(小学生以下)	減免対象者(障害者等)
43%	34%	21%	2%

・ファミリー層の利用が最も多く、自動車での来場が多い。

■利用目的

・プールの中で浮き輪等で遊ぶなどのレジャー目的の利用者が多い。

■消防水利としての位置付け

・消防水利は、基本的に、消火栓と防火水槽を使用するため、屋外市民プールを廃止しても基準上問題ない。

＜参考資料＞

■ 全国の中核市の状況(アンケート調査結果)

中核市数: 54自治体(H30.6.15現在)

調査対象自治体: 46自治体(豪雨災害考慮) 回答: 41自治体(本市含む) 未回答5自治体

調査事項	回答項目	集計結果
屋外プール設置自治体数		<u>30</u>
直近10年間の屋外プール利用者数の傾向	増加傾向	4
	横ばい	11
	減少傾向(10~20%)	8
	かなり減少傾向(20%以上)	6
	その他	1
屋外プールの主な利用目的 ※複数回答	レジャー目的	30
	その他(強化選手育成)	1
屋外プール利用者の主な利用層 ※複数回答	ファミリー層	27
	中高生	14
	高齢者	2
	その他(授業利用、小学生等)	12
屋外プールの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が減少している。(ピークの10分の1) ・施設の老朽化が進んでいる。 ・維持管理費が増加傾向にあり、収入と見合わない。 ・監視員の確保が困難 	

＜参考資料＞

■ 全国の中核市の状況（アンケート調査結果）

調査事項	回答項目	集計結果
屋外プールの今後の方向性	現状維持	11
	問題意識はあるが未定	6
	統廃合の方向で検討	8
	統廃合に着手している	4
	その他（改修の際、存続検討）	1
調査事項	回答項目	集計結果
屋内プール設置自治体数		36
直近10年間の屋内プール利用者数の傾向	増加傾向	17
	横ばい	16
	減少傾向（10～20%）	1
	かなり減少傾向（20%以上）	2
屋内プールの今後の方向性	現状維持	35
	問題意識はあるが未定	1
プール全体の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画においてプールの統廃合を検討 ・屋内プールは維持し、屋外プールは廃止 ・授業で利用しているプールがある。 	